
「主 Love!？」 ~氷日小説~

ひな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「主 Love!？」 〈氷日小説〉

【Nコード】

N4665K

【作者名】

ひな

【あらすじ】

氷輪丸が好きなのは灰猫？飛梅？

そ・れ・と・も・・・???

雛森・乱菊VS飛梅・灰猫・・・そして日番谷VS氷輪丸の
戦いの後のこと・・・。

―瀟靈廷―

雛森・乱菊・・・そして飛梅・灰猫は日番谷たちと合流
していた・・・。

(本編では実際合流していません・・・これはあくまで

私の妄想です。)

「ダーリン！会いたかった〜!!」

「ちょ、ちょっと灰猫！何抱きついてるのよ！

離れなさいよ〜!」

「うるさいわね〜!聞いて〜ダーリン!あたしさっきまで

ずっとこのこと一緒にしばられてたの〜!

もう最悪〜!性悪女の性格移っちゃう。」

「なっ!性悪女はそっちでしょう!〜!

だいたい私は性悪女じゃありません〜!〜!」

「どうだか。 あ〜あ〜どうせ縛られるんだったら

ダーリンと一緒にのほうが良かった。」

「わ、私だってどうせだったら・・・ひよ、氷輪丸様と

一緒の方がよかったわ。」

ふと氷輪丸をみて急に顔を赤らめだす飛梅……。

「あら？顔赤いけどもしかしてあなた？」

「あ、あなたには関係ないでしょ。」

「関係ないわよ。あたしのダーリンにつるさい虫が

つくのもあれだし……はっきりさせましょ。

ダーリン！あの子よりもあたしのことの方が好きよねっ！」

「ちよっ・・・何を急に・・・ひよ、氷輪丸様！こんな子に気を
使わなくてもいいんですよ。その・・・わ、私の方がす、少なくとも
あの子なんかよりは異性として好意をもてますよね。」

「ダーリン！あたしよね！」

「氷輪丸様！私ですよね！」

それまでなにもしゃべらずに黙って歩いていた氷輪丸が
足を止める・・・そしてその前に立っている日番谷を見る・・・。

「我が好きなのは・・・。」

「好きなのは!?!」

「……我が主だ。」

「は?」

「へ?」

氷輪丸が再び足を動かさず……。

そしてなんとも気まずい空気の中、日番谷の前に立ち……!

「うわ!? ひよ、氷輪丸! 何しやがる!」

「霊圧が乱れている・・・始解の状態が無理をするから・・・。」

「だからって抱きかかえなくていい！」

「とうかなんだこの抱き方は・・・！」

「主、おとなしく・・・。」

「できるか！離せ！」

そんな2人のやり取りを見て聞いたこっちの2人は・・・。

「そんな・・・お姫様抱っこなんて・・・。

・・・あたしにもしたことはないのに。」

「・・・あーゆうのが好みだったんですね・・・。

氷輪丸様・・・。」

勝手に誤解して勝手に落ち込んだ・・・。

「なんか・・・とりあえず平和ですね。」

「まあね。でもいいの？雛森・・・氷輪丸に隊長取られちゃって。」

「へ？何がですか？」

「・・・こっちもまだだね。」

ちょっと平和が戻ってきた瀨霊廷でのことでした。

・
E
N
D
・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4665k/>

「主 Love!？」 ～氷日小説～

2010年10月8日22時49分発行